



おおくら

平成
27/12 No.676

ながいあいだ おしごとありがとう

豊牧地すべり対策事業概成セレモニーで、
沼の台と肘折保育所の子どもたちが、元気
いっぱい太鼓を披露しました。



—主な内容—

- 02 | 総合戦略若者ミーティング発表会
- 04 | 海外研修レポート
- 06 | 除雪体制
- 07 | 秋の叙勲受章

2030年 大蔵村の未来の暮らしを考える

「若者ミーティング発表会」開催



▲八畷つ美さん(清水一) ▲須田 純さん(合海)

現在策定中の大蔵村版総合戦略に、次世代の担い手となる若者の意見を取り入れようと、村では5月に20〜30歳代の村民でつくるワーキングチームを組織しました。農業や観光業、公務員などの多様な職業の若者約30人によるメンバーは、将来、村で起こりうる出来事を想定したシナリオ作成を目的にミーティングを重ね、さらには地域振興に先進的に取り組む県内外の地域や中心的人物を訪れ、聞き取り調査を行いました。その活動の成果を発表する発表会が、10月30日(金)、中央公民館で開催されました。今回は、参集した村民約80人を前に発表した内容について、紹介いたします。



▲小林大輔さん(合海)



▲早坂 新さん(鍵金野)



▲國分智博さん(白須賀)



▲三條正通さん(白須賀)



▲須藤和彦さん(肘折)



▲早坂隆一さん(肘折)



▲斉藤直美さん(肘折)



▲伊藤貴之さん(合海)

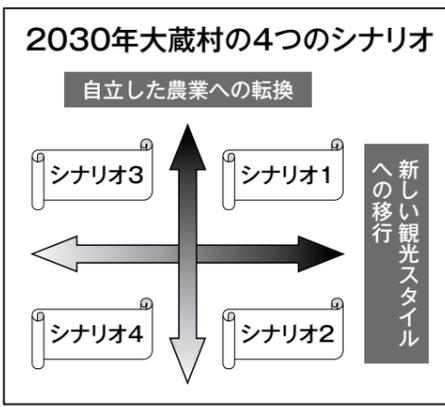
先進地への視察やインタビューからの「気づき」

担当チームに分かれたメンバーは、地域活性化の取り組みが盛んな徳島県上勝町や神山町、民協協働によるまちづくりを進める岩手県紫波町、こだわりと誇りをもって活動し、ここにしかない魅力を生み出すチームとして活躍している村内外の人物を訪れ、聞き取り調査を行いました。先進事例の単なるコピーではなく、地域や人物が持つ視点や考え方の吸収が目的です。

「やろうとする敷居を低くして、方法やアイデアが生まれたら、まずやってみよう。」「仕事があればつくめるものだという意識を持つ。」「そこには見えない地域資源を見出し、そこではできない体験や暮らしを提供しよう。」「自分たちが楽しい暮らしを目指そう。」「これらは、取り組み姿勢への「気づき」として感じ一部でありました。

2030年 4つのシナリオプランニング

先の「気づき」をもとに、2030年の大蔵村において、村の基盤産業である農業と観光の2つを軸にした4つのシナリオが提案されました。



シナリオ1はいずれも発展、シナリオ2は農業が衰退、観光が発展、シナリオ3は、農業が発展、観光が衰退、シナリオ4はいずれも衰退するパターンを予測しています。

シナリオ4 「村荒れ果て人ぼつぼつ グラリ おおくら」(推定人口2300人)

農業者の後継者不足や高齢化が進む一方で、米価の低迷が止まらず、収益性の高かったトマト農家も大手企業の農業参入などにより競争力を失い、農業人口が急速に低下。その結果、耕作放棄地が増え、四ヶ村の棚田を始め農村景観は損ねられ、ほたる火の中止、「最も美しい村」連合認定の取り消しなど観光への大きなダメージに直結。肘折温泉では湯

シナリオ1

「村美しく人いきいきキラリ おおくら」(推定人口700人)

治客の高齢化に伴い観光客は減少の一途を辿り、経営難から廃業する旅館、さらには朝市やこけし工人もいなくなり、肘折らしさが消えてしまいます。周辺の観光施設の閉鎖が続く、湯の台スキー場や月山の登山道、路線バスなどもなくなっていきます。顧客ニーズの変化に対応した一部の旅館も温泉街全体が寂れてきたことが逆風となり、他の温泉地との競争で苦戦。もしもこのまま何も手を打たず流れに身を任せてしまったのなら、村内に仕事はなくなり、人口減少に拍車がかかり、進学や就職で村を出た若者が戻ってくることもなく、村単独での自立が困難となり、市町村合併への加速が進むであろうと予測しました。

に農業技術や農業経営の研究と学習に力を注いだ結果です。村の農業の評判が高まるに連れ、農業インター制度が始まり、これをきっかけに定住する若者も増えました。また、農業に関心のあるシニアや外国人の受け入れも積極的に行っています。併せて、食育から始まる農業教育も盛んになり、将来の仕事として農業に関心を寄せる子どもも増えます。また、村内の飲食事業者や宿泊施設とコラボした地産地消の取り組みも村の農業を村民や訪問者に身近なものにしました。

2010年代後半には、危機感を持った村と民間が地域づくり会社を設立し、観光や移住に関する本格的な調査や戦略立案を始めました。肘折温泉伝統の湯治の精神を活かした長期滞在型の新たなプログラムや、客層の多い短期滞在者のニーズへの対応などが研究され、各旅館はそれぞれ得意なサービススタイルと最適な経営戦略を立て、切磋琢磨し合っています。

2030年までには、村民が暮らしを楽しむ機会や場所が村内に増えました。空き家がセンスよく改装され、住居やカフェ、レストラン、店舗などとして利用されています。地域づくり会社が関わり、特定の



人口減少や高齢化による影響が危惧される将来を見通し、「暮らしがよくなった」と思える村づくりのため策定している総合戦略ですが、若者メンバーのみならず、「いかに人口減少を緩やかにして活力ある社会を維持するか」について、村に暮らす私たち一人ひとりが自分のこととして感じるものが大切であり、それがあって初めて、発表にあったような様々な施策や事業が活きてくるのではないのでしょうか。

次世代を担う村の若者が、地区や職種を超えて集い、学び、語り合い作成したこのシナリオは、大蔵村版総合戦略に反映させていただきます。チームの皆さん、ありがとうございました。

大蔵村海外研修

～農産物のブランド化先進地 イタリア国ピエモンテ州現地視察～

10月8日(木)～10月14日(水)までの7日間、「大蔵村海外研修」が実施されました。この研修は、広い視野と見識を身につけ、活躍できる有能な大蔵村の担い手となる人材の育成を目的としています。今回は、イタリア・ミラノ 食の祭典・万博山形県視察団に加わり、村より総勢5名が参加しました。参加された皆さんの感想を紹介します。



ミラノで乾杯



小屋 圭一郎 (清水二) 「セーの、よいしょっ！」

木槌で盛大に蓋が割られ、オープニングを県産酒の鏡割りで飾った。研修メンバーがイベント会場に来てくれたお客様に日本酒を振る舞い、「乾杯！」 吉村知事の音頭で盃が掲げられ賑わった。 イタリア・ミラノで開催された国際博覧会の日本館で、県の出展事業「農業県やまがた」(ヘルシー&豊穰、幸せな田舎暮らしの提案)が開幕した。 山形県をヨーロッパで紹介するのは、今回が初めてであった。ステージでは、鶴岡市のイタリアアンレ스토랑「アル・ケッチャーノ」の奥田政行オーナーシェフと吉村知事が料

理ショーとして「山形芋煮」の作り方を実演した他、様々なパフォーマンスが披露された。 山形県酒造組合でも「山形県産日本酒」の素晴らしさを紹介した。日本酒の造り方を説明すると、会場のお客様は熱心に聞いてくれた。今までは日本酒を飲んだ事が無いお客様がほとんどだったが、説明が終わり利き酒をする時分になると、沢山のお客様が日本酒に興味を持ってくれた。 「Buono!」(美味しい!) その言葉だけは解ったが、イタリア語が全く解らない私は、お客様の感想を理解できず残念だった。 山形県には「県産酒で乾杯条例」があるが、浸透はまだまだ薄い。イ



▲吉村知事らが鏡割りをし、県産酒で乾杯したオープニングイベント

研修で感じた夢



八 鍬 とも子 (清水二) アグリツーリズモを学んだのは、1995年ドイツ研修の時です。ヨーロッパの人たちは、年に何度か長期休暇を取り、田舎の民宿に滞在してそこを拠点に野山を散策したり釣りをしたり、時には農家の仕事を手伝ったりと思いいいに過ごし、休暇を楽しむ事がすでに定着してありました。

今回の民宿は、「ラ・ルーナ(月と灯台)」というロマンティックな名前のお宅で、オーナーはフランコ、奥様(マンマ)はエステルさんという70歳を超えたかなと思われながら夫婦が経営しておりました。フランコさんは、元々ブドウ農家でしたが、今は若い方に農場を貸しているそう

です。このお宅はヨーロッパのみならず世界でも最初に民宿を経営し、各国から視察に訪れており、日本からも大勢訪れました。 家の庭には広大なブドウ畑が広がり、裏庭にはオリーブや様々な木の実や野菜がまるで自然にそこにあるかのような。そして食卓を賑わします。奥様のエステルさんは、50年も調理師をしており、雑誌や新聞に何度も掲載されておりました。

家の中には重厚な古い調度品や絵画が飾られ、落ち着いた雰囲気です。二、三日滞在すれば、身も心も癒されることでしょう。「お二人の休日はどう過ごされますか」との質問に、「この生活、お客様をお迎えすることが僕たちの天国さ」と、印象的な笑顔で答えて下さいました。

日本のアグリツーリズモは20～30年遅れていると言われますが、考えてみれば、大蔵村は逆に進んでいるのではないかと思います。農家の方では、春秋の農閑期になると肘折温泉で何日も湯治をし、朝市で食材を買い自炊をしたりして休暇を過ごす文化がすでに何百年も続いているのです。これは大蔵式アグリツーリズモではないでしょうか。

今後は、湯治文化をより進化させ、知恵とアイデアで様々な魅力的大蔵

式アグリツーリズモの方法を考え、世界に発信できたらいいな。帰国の空の上で、そんな夢をみていました。あれから20年。再び研修に参加させていただいたことに感謝とお礼を申し上げ、報告とします。



▲お世話になった農家民宿「ラ・ルーナ」のオーナーと奥様。笑顔が素敵なお二人でした。

アグリツーリズモを体験して



長 南 愛 規 (豊 牧) 今回、イタリア研修に参加し、普

普段は経験できないような貴重な経験をさせていただきました。 ミラノ万博では、日本のパビリオンは長い時間で9時間待ちということもあるようで、海外における日本食への関心の高さがうかがえました。

また、農家にうかがった際は、農業従事者が農作物の加工・販売までを行う6次産業を積極的に行っていることが分かりました。中でも、印象に残っているのは、アグリツーリズモ体験でした。

アグリツーリズモとは、農山漁村地域において自然・文化、農林漁業とのふれ合いや人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことで、ヨーロッパでは広く定着しています。宿泊した民宿でも、イタリア国内はもとより、近隣の国々の人々がやってくるように、日本からも視察や観光で訪れる人がいるようです。

農家民宿を経営しているご夫婦は、農業だけでは生計を立てられないためレストランや民宿を始めたようですが、民宿の経営は自分たちにとってバカンスのようなのだとおっしゃっていました。その気持ちが民宿にも表れており、とても居心地のいい素敵な民宿でした。旅行という観光地への訪問等をまず思い浮かべてしましますが、自然に囲まれてゆっくり過ごすことにも価値があることに気付きました。

大蔵村の地域活性化という面で、農業と観光は切り離せないものであり、今回のアグリツーリズモ体験は、普段見ている自然や地元の食材はか



▲宿泊先の農家民宿からの眺め。広大なブドウ畑やオリーブの木々が広がり、美しい自然が心を和ませてくれました。大蔵村にも、ここに負けない美しさがあると思います。

この度の研修では、ミラノ万博山形デーに参加し、知事や、万博視察団に参加した県内の様々な職種の方々と同行し、交流を深めることができました。皆さんの今後の活躍を期待します。

冬の快適な暮らしと生活路線確保へ

いよいよ今年も本格的な降雪の時期となりました。村では今年も「日本一雪に強い村」を目指し、除雪体制に万全を期しますが、やはり住民の皆さんの思いやりや助け合いがなければ、豪雪地大蔵村での快適な冬は実現できません。この冬も、皆様のご理解ご協力をお願いします。

平成27年度 大蔵村除雪体制 除雪延長 61.1km / 除雪機械 14台配備

村の除雪計画

◆今年の出動態勢

今年は、村内6基地に14台の除雪車を配備して、村道の除雪作業を計画しています。公共・公益性の高い順に作業を行い生活路線の確保に全力をあげます。

◆降雪10cmで出動

除雪車が出動する目安は、10cm以上の降雪があった場合を原則とします。除雪により道路状況が悪化した場合には状況に応じ、路面を整備します。

◆作業完了目標時間

作業は午前7時30分まで終了する事を目標としておりますが、大雪の日など、作業の進み具合によって遅れることもありますので、ご了承ください。

※除雪についての要望等は、必ず地区代表さんを通じて役場地域整備課までご連絡ください。
☎75-2102(内線223)

除雪作業にご協力を

除雪作業はちよつとしたことでトラブルが発生しやすく、スムーズな除雪作業に支障をきたす場合はかなりでなく、大変危険が伴い、事故につながりかねません。一人ひとりの注意によって効率のよい作業ができるようにご協力をお願いします。

①お願い！道路に雪を出さないで下さい

道路に雪を出されますと除雪作業に時間がかかり、作業が困難になります。宅地内の雪処理は空地等を利用するなどして道路に雪を出さないで下さい。また、側溝を利用する場合は地区で話し合つて効率の良い方法を考えましょう。

②キケン！作業中は近寄らない！

除雪作業は大変危険な作業です。作業中は決して近寄らないで下さい。(重大な事故につながりますので、作業中、道路では決して子どもを遊ばせないで下さい。)

③除雪の障害物には、赤い布をつけて下さい

雪は、除雪に支障のある障害物をすっぽりと隠します。除雪に支障をきたす障害物がある場合には、所在

を明らかにするため、大きな赤い布で明示して下さい。

④夕メ絶対！路上駐車

路上駐車は、除雪作業の妨げになるとともに事故の原因になります。路上駐車は絶対しないで下さい。

⑤転落事故防止のため、蓋を閉めましょう

除雪作業後も流雪溝の投雪口の蓋を開けたままにしておくと、歩行者や自動車の転落事故につながり大変危険です。投雪作業の後はもちろん、一時的に離れる場合も投雪口の蓋を必ず閉めるようお願いいたします。

また、蓋の閉め忘れや蓋の収まりがしつかりなっていない場合に除雪で破損した蓋は、役場・除雪業者では修繕いたしません。自己負担により修繕していただきますのでご注意ください。

⑥道路への屋根からの落雪は、除雪を行いません！

屋根からの落雪が歩行者や通行車両を直撃し、重大な事故が発生する恐れがあります。このような事故が発生した場合は建物の所有者の責任になりますので、雪崩止めの設置をするようにしてください。なお、雪崩止めの設置について、リフォーム補助の対象となる場合があります。

平成27年秋の叙勲

八鍬富雄さん

菅野 明さん



八鍬富雄さん (清水三)



菅野 明さん (鍵金野)

瑞宝双光章を受章 瑞宝単光章を受章

平成27年秋の叙勲にて、元助役の八鍬富雄さん(清水三)が瑞宝双光章を、元消防団分団長の菅野明さん(鍵金野)が瑞宝単光章を受章されました。

八鍬さんは、昭和31年に大蔵村職員に奉職以来、産業の振興、教育施設の充実などに尽力されました。また、平成4年4月から収入役に就任。さらに、平成12年4月には助役に就任され、当時の行政課題であった町村合併問題に取り組まれ、自立の村づくりの土台を築くなど村政発展に尽くされました。

菅野さんは、昭和45年5月に大蔵村消防団に入団以来、班長や部長、分団長を歴任されるなど34年の永きに亘り消防活動に尽力されました。菅野さんは、日頃から消防水利の重要性を説き、防火水槽の整備や消火栓の新設など、消防水利の近代化やその確保に力を注がれました。

お二方の功績が高く評価され、この度の受章となりました。誠にありがとうございます。

世話焼き仲人隊結成！

素敵な出会いを「応縁」します

少子化の一因である晩婚化・未婚化の対策として、出会いや結婚を希望する独身の方々にサポートし、結婚に関する相談や出会いの場の提供を行う「仲人隊」が結成されました。仲人隊は、結婚を望んでいるながらもなかなか結婚活動に踏み出せない独身者に、一対一の仲を取り持つ役目となり、安心して確実に結婚できる環境づくりに励むとともに、少子化対策や定住化を推進することを目指して活動しています。

大蔵村仲人隊の皆さんを紹介します



鈴木健一さん (藤田沢) 齋藤義廣さん (烏川) 鈴木 進さん (上竹野) 柿崎幹雄さん (赤松)

結婚希望者
↓(結婚相談)
結婚サポートセンター(商工会内)
↓
仲人隊
↓(お相手探し)
結婚希望者

結婚サポートセンター(商工会内) 開設日時
●月～金(祝祭日、年末年始除)
●午前8時30分～午後5時
●TEL 75-2162 / FAX 75-3085
●E-mail mso@shokokai-yamagata.or.jp

— これからも安心して暮らすために —
介護保険からのお知らせです

介護予防・日常生活支援総合事業について

大蔵村では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成28年4月から『大蔵村介護予防・生活支援総合事業』のサービスが始まります。主な事業は『介護予防・生活支援サービス事業』と『一般介護予防事業』として、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取り組みを推進していきます。

新しい『介護予防・日常生活支援総合事業』のサービスを利用できる方は、次のいずれかの対象者となりますのでご覧ください。

介護予防・生活支援サービス事業

【対象者】

- ① 平成28年4月以降に要支援1・2と認定されて者
- ② 基本チェックリスト（※1）により事業対象者と判断された者

※1 基本チェックリストとは介護認定を受けなくても必要なサービスを利用できるように、本人の状態を確認するためのチェックリストです。このため、迅速なサービスの利用が可能になります。

事業	内容
訪問型サービス	要支援者・事業対象者に対し、掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供します。
通所型サービス	要支援者・事業対象者に対し、機能訓練や集いの場(サロン)など日常生活上の支援を提供します。
生活支援サービス	要支援者・事業対象者に対し、栄養改善の指導や一人暮らし高齢者の見守りを提供します。
介護予防ケアマネジメント	要支援者・事業対象者に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようにケアプラン(※2)を作成します。 ※2 (一人ひとりの状態に応じた適切なサービスが提供できるようにする計画書です。)

一般介護予防事業

【対象者】

- ① 第1号被保険者（65歳以上）及びその支援に活動に関わる者

事業	内容
介護予防把握事業	収集した情報の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、介護予防活動につなげていきます。
介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及・啓発を行います。
地域介護予防活動支援事業	住民主体の介護予防活動の育成・支援を行い、集いの場(サロン)など日常生活上の支援を提供します。
一般介護予防事業評価事業	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等を検証し、一般介護予防事業の評価を行います。
地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防の取り組みを機能強化するため、通所、訪問、地域ケア会議、住民主体の通いの場等へのリハビリ専門職等による助言等を実施します。

【問合せ先】 大蔵村地域包括支援センター(役場健康福祉課内) ☎75-2104(内線272・274)

マイナンバー制度について



お届けします。

マイナンバー
「通知カード」

いよいよ皆さんのもとに、12桁の個人番号(マイナンバー)が記載された「通知カード」が送付されました。マイナンバーは平成28年1月より利用が開始され、確定申告などの税分野、介護保険や児童手当といった社会保障分野など、いろいろな場面で必要になります。

この「通知カード」は、皆さんに個人番号(マイナンバー)をお知らせするためのカードです。なお、この「通知カード」を身分証明書として使用することはできません。

また、マイナンバーを利用する際には本人確認が必要となり、「通知カード」と一緒に、免許証などの写真付きの身分証明書を提示していただくこととなります。

紛失などにより再交付される場合は有料になりますので、無くさないように大切に保管してください。

本人確認も一緒にできる
「個人番号カード」が

便利です。

マイナンバーには、もう一枚カードがあります。それが、「個人番号カード」です。「個人番号カード」は、申請していただく、初回は無料で交付されます。

このカードは写真付きのため、マイナンバーの利用と本人確認が一緒にできるので便利です。また、免許証と同様に、公的な身分証明書として使用することができます。

交付の申請については、通知カードと一緒に送付された「個人番号カード交付申請書」を使用するほか、パソコンやスマートフォンからもできます。

また、スマートフォンからでもご利用いただけます。



マイナンバーカード(個人カード)



◀裏面には、マイナンバーが記載され、これによりマイナンバーを証明することができます。

▶表面には、住所・氏名・生年月日・性別と写真が表示されますので、身分証明書としても利用できます。

住民異動等の際は、

届出を忘れずに!

「通知カード」「個人番号カード」には、正しい住所や氏名の記載が必要になります。

転入や転居等の住所異動、婚姻などにより氏が変わる場合などの異動届をする際は、役場担当窓口まで忘れずにカードをお持ちください。

【問合せ】

住民税務課住民係 ☎75-2103

マイナンバー総合フリーダイヤルが開設されました。「通知カード」「個人番号カード」に関することや、その他マイナンバー制度に関するお問合せにお答えします。

マイナンバー総合フリーダイヤル
☎0120-95-0178(無料)

- ・平日 9:30~22:00
- ・休日 9:30~17:30 (年末年始除く)

渡部伸也さん 山形県青少年育成成功労者表彰を受賞



10月24日(土)、新庄市民プラザを会場に開催された山形県青少年健全育成県民大会の席上で、村青少年育成推進員の渡部伸也さん(清水一)が、山形県青少年育成成功労者表彰を受賞されました。これは、32年間の長きに亘り本村、最上地区の青少年健全育成に大きく貢献されたことが認められたものです。渡部さんは「今後も青少年健全育成に力を。」と語ってくれました。誠にありがとうございます。

佐藤 勝さん 全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞



11月12日(木)～13日(金)にかけ、愛媛県松山市で開催された第56回全国スポーツ推進委員協議会愛媛大会開会式の席上において、村スポーツ推進委員長佐藤勝さん(滝の沢)が全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞されました。これは、28年の長きに亘りスポーツ推進委員として本村社会体育全般にご尽力され、その功労が顕著であると認められたものです。誠にありがとうございます。

ぬるぬるなめこ いっぱいとれたよ! 小学生なめこ収穫体験



11月6日(金)、沼の台ブナの森公園で大蔵小学校4年生の児童23名がなめこの収穫体験を行いました。やまがた緑環境税を活用し実施したもので、四ヶ村森林活用協議会の指導のもと、昨年度の4年生が植菌したほだ木に生えたなめこを収穫し、栽培過程や森林の持つ働きについて学習しました。なめこのぬるぬるに苦戦しながらも、多い人は袋いっぱい収穫し、「どうやって食べるのがおいしいの?」など興味津々に質問をしていました。



全国大会で好成績 高山 輝くん 優勝! 片見公亮くん 準優勝!



10月24日(土)～26日(月)にかけ、和歌山県で開催された全国障害者スポーツ大会陸上競技において、高山輝くん(白須賀)が少年男子ソフトボール投げで69m15cmを記録し、見事優勝しました。また、卓球競技において一般男子シングルスに出場した片見公亮くん(烏川)が、準優勝を収めました。素晴らしい活躍、おめでとうございます。

災害ボランティアセンターの 運営等に関する協定を締結



11月13日(金)、公益社団法人新庄青年会議所と社会福祉法人大蔵村社会福祉協議会が、災害ボランティアセンターの運営等に関する協定を結びました。最上地域において、初の協定締結となります。新庄青年会議所は、東日本大震災や宮城県大崎市の豪雨災害などで災害ボランティアセンターの運営を担うなど豊富な実績があり、万が一の際は、ネットワークとフットワークを活かした運営ノウハウにより、災害ボランティアセンター運営の協力が得られることとなります。

人口減少・高齢社会 これから私たちがすべきことは?



11月2日(月)、IHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者の川北秀人先生をお招きし、講演会が中央公民館で行われました。村と村社会福祉協議会が共催したもので、約50名が参加し、小規模多機能自治の意義と基礎についてお話いただきました。特に、高齢者の人数などを具体的に示し、大蔵村に迫ってくる状況が分かりやすく説明され、今から備えることの大切さを学びました。

地域の安心・安全と棚田の美しい景観をいつまでも 豊牧地すべり対策事業概成セレモニー開催

豊牧地区で昭和37年より53年間実施されてきた国直轄地すべり対策事業が概成したとして、10月25日(日)、沼台生涯学習センターにおいて、豊牧地すべり対策事業概成セレモニーが開催されました。当日は、地元四ヶ村開発協議会会員や国交省、県、自治体の関係者約80名が参加し、半世紀以上にわたる事業の節目を祝いました。

式典では、地すべり対策事業概成までの取り組み状況について、国交省新庄河川事務所田村所長より説明がありました。豊牧地区は、肘折カルデラ形成に伴う火山灰が堆積した丘陵地で、融雪期や豪雨により古くから地すべりに悩まされてきたことから、総事業費188億円を投じ、約39kmの水路や77基の集水井、約76kmの集水ボーリング、15km余りの横ボーリング工事などが進められました。対象面積は593.6haと全国2番目となる大規模な事業であるとともに、事業開始当初は地すべり対策の事例が少なかったことから、調査・工事は困難を極めたとのお話でした。

四ヶ村開発協議会佐藤勝会長より田村所長に感謝の意をこめて感謝状と花束が贈られると、続いて、国交省東北地方整備局島山河川部長から山形県上坂県土整備部長に目録が手渡され、地すべり防止施設の維持管理が国から県に引き継がれました。

また、事業の概成を記念した餅まきや、事業の歩みを写真で振り返るパネル展示なども併せて行われました。



INFORMATION



大蔵村湯の台スキー場オープン

○営業日
▽毎日 H27.11/28～H28.1/11
H28.3/12～5月上旬
▽土日祝日のみ H28.1/12～3/11
○営業時間 8:30～16:30
○料金 ①クロスカントリー
一日券400円、
シーズン券3,000円
②アルペンリフト券
一日券2,000円、半日券1,500円、
シーズン券15,000円
※積雪状況により休業の場合もありますので、事前にゲレンデの状況をご確認ください。
☎ 湯の台スキー場『ノルディック館』 ☎76-2636

ハローワーク新庄から 求職者支援訓練のお知らせ

必要なスキルを身につけ、希望する職種への就職を目指します。【ゼロからしっかり身につける! OA事務科】
(アド・デザインパソコンスクール新庄校)
○募集締切 12/15(火)
○定員 12名
○訓練期間 H28.1/13～4/12
【介護初任者研修実践科】
(新庄コアカレッジ)

○募集締切 H28.1/26(火)
○定員 15名
○訓練期間 H28.2/17～5/16
※受講には、受講時点で雇用保険に加入していないことなど一定の要件があります。
※山形労働局ホームページの職業訓練情報からパンフレットがダウンロードできます。
☎ ハローワーク新庄 ☎22-8609

「大蔵村住宅リフォーム補助制度」のお知らせ

次の5分野のいずれか一つを含むリフォームで、村内又は県内業者施工の工事を補助対象とします。
部分補強(耐震化)・省エネ化・克雪化
バリアフリー化・県産木材の利用
○補助金額 村内業者の場合
工事費の20%で上限50万円
県内業者の場合
工事費の10%で上限20万円
☎ 役場地域整備課維持管理係 ☎75-2102

山形大学医学部附属病院 がん患者相談室のご案内

相談室では、がんに関する治療や検査、療養や痛みの悩み、医療費などの患者さんやご家族の不安や心配事に、専任相談員の看護師が対応いたします。
○受付時間 8:30～17:00
(土日、祝休日を除く)
○相談場所 がん患者相談室
(受付カウンター左手)
○相談の方法 対面または電話
☎023-628-5159
○相談料 無料

☎ 山形大学医学部附属病院高度先進医療推進室 ☎023-628-5022

ふるさと奨学ローンのお知らせ

○取扱期間 H28.3/31(木)まで
○対象 大学・短大・高校・専門学校等の学資資金、住居・生活資金
○融資額 1,000万円まで
○金利 年2.50%～3.65%
○返済期間 最長10年
(年2%程度の利子補給制度有)
☎ 東北労働金庫新庄支店 ☎22-7151

「これってブラック?」なんでも 労働相談ダイヤルのご案内

○相談期間 12/10(木)・11(金)
10:00～19:00
○相談専用電話 0120-154-052
○相談内容 解雇、賃金カット、
休暇など労働に関する相談
○相談料 無料
☎ 実施団体 連合山形 ☎023-625-0555

借金に関する相談窓口のご案内

東北財務局山形財務事務所では、借金に関する相談窓口を開設しています。相談員が借金の状況等をお伺いし、必要に応じて、弁護士等の専門家に引き継ぎます。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。
○受付日時 月～金(祝日、年末年始除く) 8:30～16:30
○相談専用電話 023-641-5201
○場所 山形市緑町2-15-3
(山形工業高校東側)
山形財務事務所1階
☎ 山形財務事務所理財課 ☎023-641-5178

「2016年版 やまがた県民手帳」販売中です!



仕事や生活に役立つ資料満載の「やまがた県民手帳」が今年も発売されています。
県の統計資料に加えて、官公庁・学校・病院・公的団体等の名簿や県内のお祭り・イベント情報、観光マップに防災情報なども掲載され、この一冊で「山形がわかる」便利な手帳です。
1冊 600円(税込)
(カラー:オールドレッド サイズ:164×87mm)
○購入方法
役場総務課まで直接おいでください。代金と引き換えに、手帳をお渡しします。
※役場での取り扱いは、平成28年1月29日(金)までです。数に限りがありますので、どうぞお早めにお申し出ください。
☎ 問合せ 役場総務課政策推進係 ☎75-2111(内線213)

雇用の分野における障害者差別禁止・合理的配慮の提供義務について

障害者の職場定着を目的とし、障害者雇用の一層の促進を図るため、平成28年4月1日から障害者雇用促進法が改正されます。ポイントは次のとおりです。
○募集・採用・賃金・配置・昇進などの雇用に係るあらゆる局面で、障害者であることを理由とする差別が禁止されます。
○募集・採用時及び採用後において、事業主は選考方法及び作業環境などに障害特性に応じた配慮を求められます。
☎ 問合せ ハローワーク新庄 求人・専門援助部門 ☎0233-22-8609

～油断大敵～油の流出事故が多発しています!

— 事故を防ぐための心掛け —
○ホームタンクから灯油を小分けする時は、絶対にその場を離れない。
○除雪による配管の破損を防ぐために、目印を立てる。
○落雪によるホームタンクの転倒を防ぐために、雪囲いをする。
○配管やホームタンクの定期点検を行う。
事故を起こした場合や発見した場合は、役場・消防署・警察署へご連絡ください。
☎ 問合せ 最上川水系水質汚濁対策連絡協議会事務局
国土交通省山形河川国道事務所河川管理課 ☎023-688-8421
役場地域整備課 ☎75-2102

戸籍の窓

(10月16日～11月18日届出分)
お悔み申し上げます
地区 お名前(年齢) 世帯主
赤松 八楯 幸子(78) 虎 夫
季の里 長南 ツルエ(91) ツルエ
白須賀 片岡 誠(42) 誠
○届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

Table with population statistics: 世帯数 1,098戸 (1,103戸), 人口 3,529人 (3,604人), 男 1,729人 (1,762人), 女 1,800人 (1,842人), 出生 男0人 女0人 計0人, 死亡 2人 3人 5人, 転入 2人 2人 4人, 転出 5人 2人 7人. ※平成27年10月末現在 ()内は昨年同期



冬期間の水道料金について

冬期間は積雪のため、水道のメーター検針ができなくなります。12・1月分と2・3月分の水道料については、昨年の冬期間の平均使用水量に基づいて請求し、平成28年5月のメーター検針で精算いたします。一般の下水道料金についても同様の取扱いとなります。ご理解のほどお願いします。
☎ 役場地域整備課上下水道係 ☎75-2102

夜間・休日応急診療所
新庄市保健センター内に開設
新庄市夜間休日診療所
☎29-6300
●診療科目 内科・小児科
●診療時間 19時～21時30分
(月～土曜)
●夜間診療 9時～17時31分
(日曜・祝日)
●問合せ先 新庄市健康課健康推進室
☎22-12111

11月の日誌
1日(日) ●おおくら大産業界
1日(日) ●8日(日)
9日(月) ●大蔵村子ども展
9日(月) ●第51回肘折温泉郷なめここけし祭り
9日(月) ●30日(月)
●大蔵村芸術作品展
12月の予定
3日(木) ●行政相談
●人権擁護特別相談
4日(金) ●大蔵村保育所発表会
5日(土) ●肘折保育所おゆづぎ会
10日(木) ●沼の台保育所おゆづぎ会
11日(金) ●12月定例議会
16日(水) ●ふるさと味来館みすき団
子つけ
20日(日) ●叙勲祝賀会
29日(火) ●1月3日(日)
●役場年末年始閉庁

おおくらっ子 写真館



このコーナーでは、村内の子どもを紹介しています。
ご親戚、お友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！



(合海) 佐藤 琉斗くん
(ひかり)



★すきなもの
なつこごぼんと
ニンニンジャー



(赤松) 五十嵐 永翔くん
(修平)



★すきなもの
ポテトとしんかんせん



絶品なめこ ご賞味あれ! 第51回

肘折温泉郷なめこ・こけし祭



実りの秋に 大賑わい! 第10回 おおくら大産業市



今や大蔵村の秋を代表する両イベントは、どちらも大盛況でした。

なめこ・こけし祭りでは約300kgのなめこが用意され、約1,000名の来場者が肘折独特のなめこ汁を味わいました。

11月1日(日)中央公民館前広場で開催された大産業市と、11月9日(月)肘折いでゆ館で開催されたなめこ・こけし祭り。大産業市ではJA山形もがみが主催するつまい米横綱決定戦や実行委員会によるおおくらdeマルシェが加わり、1,500名を越える方々で賑わい、もち米4俵分の餅をつき振舞われました。



編集と発行 ● 山形県最上郡大蔵村役場総務課 電話 (0233) 75-2111

ホームページ

大蔵村

検索

URL <http://www.villohkura.yamagata.jp/>
メールアドレス info@villohkura.yamagata.jp